

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式 1	上部形式 2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分								
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	所見等	
1	0003	43.75793,141.88766	古作橋	フルサカシ	培本社古作線	1	P C 橋	プレテン中空床版	17.00	8.70	7.50	2005	16	2021	I	-	II	I	I	II	II	床版に錆汁を伴う遊離石灰が見られる。その他、舗装ひびわれ、高欄・防護欄継手部のボルト脱落、地覆の欠損が確認された。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。	
2	0009	43.75827,141.88999	幌美里橋	ホロミトバシ	共栄・古作線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	10.40	7.80	7.00	1973	48	2021	I	I	I	I	I	I	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、地覆に剝離・鉄筋露出などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2017年に下部工、伸縮装置 (A1,A2) を、2018年に主桁、横桁、床版、高欄、排水装置、支承(A1,A2)、地覆補修済み
3	0010	43.77238,141.88200	碧水橋	ヘキスイバシ	碧水口美葉牛線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁 (不明), I 桁 (不明)	51.00	5.80	5.00	1970	51	2021	II	II	I	I	II	II	II	II	鋼製部材に腐食・防食機能の劣化が見られる。その他、高欄・防護欄支柱の破断などが確認された。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。2018年に床版、下部工、支承 (A1,P1,A2)、排水管を、2019年に橋面防
4	0017	43.76992,141.81641	みるか橋	ミルカシ	西川岩村線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	5.80	4.70	4.40	1966	55	2021	III	-	I	III	II	II	III	III	構造本体としては、A1梁部に断面欠損が確認された。道路橋の機能に支障を生じる可能性が著しく高く、緊急措置を講ずる状態であるため点検時は緊急措置段階と判定。応急措置としてA1梁部前面に仮受けを実施し、緊急対応済みであるが主桁を含む他の部材にて腐食を確認していることから早期措置段
5	0020	43.78224,141.85596	岩美橋	イワミバシ	岩美線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁 (非合成), I 桁 (非合成)	44.70	7.00	6.00	1981	40	2021	I	I	II	I	I	II	II	II	床版に錆汁を伴う遊離石灰が見られるが、2016年の伸縮装置、橋面防水の施工前からのものである。その他排水装置にボルトの脱落などがみられた。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。2016年に床版、下部工 (A1,P1)、支承(A1)、地覆、高欄補修済み
6	0021	43.81128,141.84271	上美葉牛橋	カミヒバウシバシ	美葉牛沼田北竜線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	35.60	8.70	7.50	1999	22	2021	I	I	I	I	I	II	I	I	構造本体としては、損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、高欄・防護欄継手部のボルト脱落が確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。
7	0022	43.78947,141.85075	美恵橋	ミヰケバシ	美葉牛中通り線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	42.90	8.70	7.50	2004	17	2021	I	I	I	I	I	II	I	I	構造本体としては、損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、舗装の異常、高欄・防護欄の変形、排水装置のボルト脱落などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。
8	0024	43.81240,141.84521	石黒橋	イシグロバシ	美葉牛東2線	1	P C 橋	プレテン床版	8.43	8.70	7.50	1953	68	2021	I	-	I	I	I	I	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、伸縮装置からの漏水、地覆の欠損、高欄・防護欄の変形が確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2016年に床版、下部工、伸縮装置 (A1,A2)、橋面防水を補修済み
9	0025	43.80626,141.84408	東橋	アズマバシ	美葉牛中央線	1	鋼溶接橋	I 桁 (合成)	39.30	8.70	7.50	1994	27	2021	I	I	I	I	I	II	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、排水装置のボルト脱落などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2017年に主桁、横桁、対傾構、横構、床版、下部工 (A1,A2)、高欄、排水装置を補修済み
10	0026	43.74540,141.81571	中の沢橋	ナカノサカシ	小豆沢開拓線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	8.42	4.30	4.30	1962	59	2021	II	I	II	I	II	I	II	II	構造本体としては、主桁の防食機能の劣化、床版に錆汁を伴う遊離石灰、支承にアンカーボルトのゆるみが見られた。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。2017年に下部工 (A1, A2)、床版、地覆、舗装を補修
11	0031	43.73331,141.86527	大山橋	オヤマバシ	西川スキー場線	1	鋼溶接橋	I 桁 (不明)	31.51	5.00	4.00	1986	35	2021	I	I	I	I	I	II	I	I	構造本体としては、損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、排水装置のボルト脱落、高欄・防護欄の破断などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。
12	0032	43.72419,141.87594	三谷橋	ミヤニハシ	三和線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁 (非合成), I 桁 (非合成)	44.70	4.80	4.00	1973	48	2021	III	I	III	III	III	III	II	III	構造本体としては、主桁、床版に板厚減少を伴う局所的な腐食、ゴム支承の亀裂及びアンカーボルトのゆるみが見られる。その他、伸縮装置からの漏水、目地材の脱落などが確認された。道路橋の機能に支障が生じる可能性があるため早期措置段階と判定。
13	0033	43.72283,141.84708	豊橋	トヨカシ	三谷南2線	1	鋼溶接橋	I 桁 (非合成)	25.80	5.00	4.00	1981	40	2021	I	I	I	I	I	II	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他排水装置、高欄・防護欄の腐食、ボルト脱落などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2021年に下部工 (A1, A2)、支承 (A1,A2) を
14	0035	43.72152,141.84866	三線橋	サンセバシ	三谷南3線	2	H型鋼, H型鋼	H形鋼 (不明), H形鋼 (不明)	38.90	5.00	4.00	1982	39	2021	I	I	II	I	II	II	II	II	床版に錆汁を伴う遊離石灰が見られるが、2015年の伸縮装置の交換、橋面防水の施工前からのものである。また、支承モルタルに欠損が見られる。その他、排水装置に板厚減少を伴う腐食が確認された。道路橋の機能に緊急性
15	0036	43.78224,141.85591	岩村橋	イワムラバシ	恵北4線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁 (非合成), I 桁 (非合成)	45.30	7.50	6.50	1977	44	2021	I	I	I	II	I	II	II	II	P1橋脚に錆汁を伴う遊離石灰がみられる。その他、排水装置のボルト脱落などが確認された。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。2017年に対傾構、床版、下部工、支承、伸縮装置 (A1,P1,A2)、排水装置、橋面防水、高欄を補修済み
16	0038	43.73750,141.77833	近藤橋	コンドウバシ	竜西農場線	1	P C 橋	プレテン中空床版	18.50	5.20	4.00	1989	32	2021	I	-	I	I	I	I	I	I	構造本体としては、損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、伸縮装置のゴム材の欠損、高欄・防護欄の腐食、防食機能の劣化、変形が確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。
17	0041	43.73819,141.77935	第2御料橋	ダイニコリョウバシ	四号の沢線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁 (合成), I 桁 (合成)	54.90	5.20	4.00	1989	32	2021	I	I	I	I	I	I	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため経過観察とする。その他、高欄に腐食、変形などが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2021年に主桁、横構、対傾構、床版、下部工、支承、伸縮装置 (A1,P1,A2)、地覆、排水装置、舗装、高欄を補修済み
18	0042	43.74875,141.75635	第一御料橋	ダイイチリョウバシ	四号の沢線	2	P C 橋, P C 橋	プレテン中空床版, プレテン中空床版	50.60	5.20	4.00	1989	32	2021	I	-	II	I	II	II	II	II	構造本体としては、床版に錆汁を伴う遊離石灰、支承モルタルの欠損が見られる。その他、高欄・防護欄のボルト脱落、舗装の異常などが確認された。道路橋の機能に緊急性がないため予防保全段階と判定。
19	0044	43.76921,141.81433	奥一の沢橋	オクイチノサバシ	西川岩村線	1	鋼溶接橋	H形鋼 (合成)	17.66	8.70	7.50	1989	32	2021	I	I	I	I	I	I	I	I	構造本体の損傷が軽微であるため、経過観察とする。その他、高欄・防護欄に変形、舗装ひびわれが確認された。道路橋の機能に支障が生じていないため健全と判定。2019年に伸縮装置 (A2)、橋台 (A1)、高欄を補修済み

I	15	13	13	16	13	6	10
II	2	1	5	1	5	13	7
III	2	0	1	2	1	0	2
IV	0	0	0	0	0	0	0
-	0	5	0	0	0	0	0